

今後、タブレットが文房具？！

校長 吉峯 進

文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想」により、奄美市内すべての小中学校の児童生徒と教員に1人1台のタブレットが配備され、6月から運用が開始されています。

“GIGA”は、“Global and Innovation Gateway for All”，直訳すると、「全ての（子供たちの）ために、グローバルで革新的な扉を開く」となるようです。これは、児童生徒1人1台の端末と高速通信環境の整備を基盤として、「Society（ソサエティ）5.0」時代を生きる子供たちのために、「ICTを基盤とした個別最適化され、創造性を育む教育」を持続的に実現させる国の施策です。

現在、学校では、「主体的・対話的で深い学び」の授業を実践しています。この“学び”は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点で整理することができます。これらをタブレットを活用した授業に当てはめてみると、次のようになります。

【個別最適な学び】

子供たちが個人の能力や技術等に応じ、タブレットを自分に最も適した方法で操作し活用しながら学んでいく。

【協働的な学び】

子供たちがタブレットを使って自分の考えや意見等を多くの友達に発信したり、多くの友達の考えや意見等を受信したりしながら、比較、検討等する過程を通して考えや意見を深める、また、正解を導き出す。

このようにタブレットは、「先生が分かりやすく教えるための教具」である以上に、「子供が自ら学ぶために活用する文房具」と捉えるべきです。今後の授業参観等では、子供たちがタブレットを、ノートや鉛筆等と同じように授業の中で自然と使う姿が見られるようになってきます。現代の子供たちの多くは、小さい頃からゲーム機やスマートフォン等の操作になれているため、タブレットの操作等にそれほど抵抗がありません。むしろ教員の方の得手不得手がはっきりしますので、学校内では、計画的に研修を深めながら、子供たちと一緒に操作や利活用の技能を高めていく姿勢を大切にしたいと話し合っています。

今後、学校でのタブレット利活用のスキルが高まり、タブレット使用に関するルールやWi-Fi環境等が整備されると、タブレットを自宅に持ち帰って活用することが可能になると考えられます。学校と家庭を繋いでリモート授業を行ったり、タブレットで宿題等に取組んだりすることが現実となるかもしれません。

<Society5.0とは>

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）

狩猟社会(Society1.0)→ 農耕社会(2.0)→ 工業社会(3.0)→ 情報社会(4.0)

※ 具体的なイメージをつかみたい方は、「上白石 萌音 CM 政府広報『Society5.0』篇」をYouTubeで御覧ください。

運動会の御協力、ありがとうございました。

10月3日（日）は天候にも恵まれ、無事に運動会を実施することができました。

今年は、プログラムの縮小、保護者の参観者の制限の中の運動会でしたが、保護者の皆様の御協力のおかげで、子どもたちが生き生きと頑張る姿が見られ、思い出深いものとなりました。

また、受付をしていただいた保体部の方々、会場の後片付けを手伝っていただいた方々、誠にありがとうございました。



絶対にしないで！“火遊び”が大火事に！！

10月8日（金）、火災を想定した避難訓練を実施しました。子どもたちは、緊急放送を聞いた後、静かに校庭へ避難しました。その後、体育館に移動して、DVDを視聴し、コンロやストーブの近くに燃えやすい物を置かないなど、火災防止のためにできることを確認しました。

これから空気が乾燥してくる時期です。火遊びを絶対にしないことはもちろん、火の取り扱い等、各家庭でも十分話し合ってください。



インターネットのフィルタリングを！

パソコン、ゲーム機、スマートフォン、タブレット等、自分専用の機器や家族と共用の機器を使って子どもたちも多く利用している実態があるようです。

今後一層、インターネットの利用は生活に欠かせないものとなると思われます。

インターネットを利用した犯罪やトラブルに巻き込まれないためにも、フィルタリングの設定、家庭内でのルールを設定をよろしくお願ひします。



県作文奄美市審査会 受賞おめでとう

【特選】

1年 染谷 あい	2年 大水流 愛理
3年 染谷 ゆい	(県審査会で特選)
4年 茂野 晴馬	4年 前田 琉翔
4年 磯端 奏	6年 竹山 真子
6年 松浦 由奈	6年 磯端 心羽

【入選】

1年 麓川 芽生	2年 清田 航司
2年 宇都 遥斗	3年 里 桃羽
4年 小元 える	5年 清田 創司
5年 田川 真帆	5年 作田 怜乃愛
6年 西竹 真桜	

※ 前回の学校だよりで児童の名前の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正し、お詫びいたします。

<田中一村スケッチコンクール>

優秀賞 (誤) 元 宗一郎 → (正) 元 優誠

<南日本硬筆>

推薦 (誤) 元 優勢 → (正) 元 優誠

【11月の生活目標】

☆ 規則正しい生活をしよう。

【11月の保健・給食目標】

☆ 健康な体をつくろう。



【11月の主な行事予定】

- 1日（月） 学校自由参観日（2～4校時）
- 2日（火） 学校自由参観日（2～5校時）
授業参観【発表会】（低学年）
- 3日（水） 文化の日（祝日）
- 4日（木） 学校自由参観日（2～5校時）
授業参観【発表会】（中学年）
- 5日（金） 学校自由参観日（2～5校時）
授業参観【発表会】（高学年）
- 17日（水） 5年宿泊学習（18日まで）
- 19日（金） 5年休養措置日
- 23日（火） 勤労感謝の日（祝日）
- 30日（火） 校内持久走大会（低学年）
学級PTA（低学年）
- 12月1日（水） 校内持久走大会（中学年）
学級PTA（中学年）
- 12月2日（木） 校内持久走大会（高学年）
学級PTA（高学年）

◇地域が育む「かごしまの教育」県民週間

< 1日(月)～ 5日(金) >

◇歯っぴい週間 < 1日(月)～ 5日(金) >

◇読書月間 < 8日(月)～ 30日(火) >